

鉄道ピクトリアル

2019年5月号 Vol.69 No.5 通巻No.959

〈特集〉私鉄の63形電車

■表紙 さよなら運転時の小田急電鉄1800形 ……太田正行
黒川一栗平 1981-7-12

■グラフ

私鉄の63形電車 (1~8ページ)

高松吉太郎・長谷川 明・飯塚卓治・Gordon Davis
岸 幸男・星 晃・園田正雄・花上嘉成・林 智春
太田正行・真鍋裕司・千田正哉・岸 孝・梶田俊幸
平芳資也・小林 武・大里信之・浜村正弘

*

| | | |
|------------------------|--------------------|----|
| 東武鉄道6300(7300)系 | 写真:花上嘉成ほか | 26 |
| 小田急電鉄1800系(付 秩父鉄道800系) | 構成:澤内一晃 | 30 |
| 西武鉄道401形 | 写真:園田正雄・林 和夫ほか | 34 |
| 相模鉄道3000系 | 写真:長谷川弘和・水野照也ほか | 37 |
| 名古屋鉄道モ3700・ク2700形 | 写真所蔵:水野茂生 | 42 |
| 山陽電気鉄道63800形(700形) | 写真:亀井一男ほか | 42 |
| 南海電気鉄道1501形 | 写真:藤井信夫ほか | 49 |
| 三井鉱山ホハ200形 | 写真:和久田康雄・中川浩彦・浜村正弘 | 52 |

*

Pictorial Color Gallery 三輪の里を走る105系 ……松好 弘明… 97

西武鉄道001系「Laview」/神戸市交通局6000形/関東
鉄道キハ5020形/JR西日本新快速「Aシート」車/小田
急代々木八幡駅新駅舎・ホーム公開/東京都交通局勝
どき駅ホーム増設ほか 100~105

| | |
|-----------------------|-----------|
| トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) | 106 |
| 阪急京都線ダイヤ改正 | 竹内 宗隆…114 |
| ジャカルタのJR車両 近況 | 井上 幸彦…116 |
| 連載・昭和の鉄景(第29回) | 椎橋 俊之…118 |

■本文

| | |
|----------------|-----------|
| 今月の話題:私鉄の63形電車 | 編集部… 9 |
| 私鉄へ渡った63形電車 | 柴田 東吾… 10 |

〔私鉄各社の63形の記録〕

| | |
|-------------------|-----------|
| 東武鉄道7300系 | 花上 嘉成… 16 |
| 西武鉄道401形 | 佐藤 利生… 55 |
| 小田急電鉄1800系 | 澤内 一晃… 65 |
| 相模鉄道3000系 | 大里 信之… 72 |
| 南海電気鉄道モハ1501形 | 藤井 信夫… 78 |
| 山陽電気鉄道63800(700)形 | 堀田 和弘… 84 |

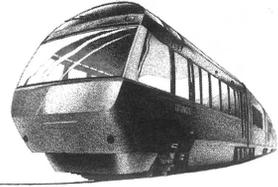
*

| | |
|--|----------------|
| 鉄道の話 | 編集部… 54 |
| 2月のメモ帳 | 96 |
| 書評(650)『「大東亜共栄圏」と幻のスマトラ鉄道 —玉音放送の日に完成した第二の泰緬鉄道—』 | 三木 理史…119 |
| 西武鉄道001系「Laview」 | 西武鉄道(株)車両部…120 |
| ジャカルタで活躍するJR車両の現況 2018 | 井上 幸彦…129 |
| 読者短信・情報ファイル | 137 |
| 後部車から | 141 |

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

私鉄の63形電車

第二次大戦中の戦時輸送の措置に伴い、いわゆる戦時型車両が生産された。人出と資材が不足する中で、規格・仕様の統一を図って最大限の量産を行うこととして、戦時型D51、D52、EF13、3軸貨車のトキ900、そして戦時型電車モハ63形の生産が進められた。代用材を活用して資材を節約し、工作も限界まで切り詰めて生産されたこれらの車両は、平時では想像もできないほどの粗悪なものとして知られているが、当時の輸送に果たした役割もけっして小さいものではなかった。モハ63形電車に限って見れば、戦時中の落成はわずかであり、大半は敗戦後の混乱の中で生産が続けられ、粗悪な造作が大きな要因となった「桜木町事故」をはじめとして悪評は高いが、一方では戦後復興期の輸送を支え、さらにその後の広く鉄道発展の基盤となった部分も多いのである。

モハ63形は最終的には約800両が生産され、東京・大阪の国電を中心に活躍するが、そのうち116両は私鉄に割り当てられた。20m・4扉車体が運行できる会社は多くなく、その中で東武鉄道、東京急行電鉄(小田原線)、名古屋鉄道、近畿日本鉄道(難波営業局)、山陽電気鉄道へ投入され、復興期の輸送を担った。名鉄は運行上の制約から、早期に東武、小田急へ譲渡したが、東急が委託運営していた相模鉄道を含め、各社において車両限界の改築など、運行上の制約を克服し輸送力確保に貢献し、こうした経過が、後々の20m通勤車全盛時代の輸送力増強へと続いていくのである。このほか、経緯は異なるが西武鉄道、さらに大牟田・三池の専用鉄道にも投入された。私鉄の63形は更新が図られつつ、1970~80年代まで各社の通勤輸送に活躍し、それぞれの足どりの記録はまことに興味深い内容を持っている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan